

看護学研究科 看護学専攻

I 期 小論文

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、専門的な文章を正確に読解して要点を簡潔にまとめる力と、臨床経験を省察し、自らの価値観や思考の変化を論理的に記述する力を評価することを意図しています。

あわせて、経験知と専門知を結び付け、看護実践上の課題を大学院での学修・研究へ発展させる問題意識、ならびに専門職として継続的に学ぶ姿勢を確認します。

看護学研究科 看護学専攻

Ⅱ期 小論文

出題意図

本学大学院の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、看護に関する論考を正確に読み、中心的な主張を要約する力と、臨床経験を客観的に振り返り、その意味を筋道立てて表現する力を評価することを意図しています。

あわせて、患者の語りと看護実践との関係を考察し、実践上の問題を研究的な問いへつなげ、大学院での学びによって発展させようとする姿勢を確認します。

生活科学研究科 食物健康科学専攻

I 期 外国語（英語）

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、食物健康科学分野の学術英文を正確に読み、専門用語、研究目的、方法、結果および結論を把握するために必要な英語読解力を評価することを意図しています。

あわせて、統計的な記述や研究デザインを文脈に即して理解し、英文から得た情報を日本語で説明する力を確認し、入学後の文献講読と研究活動に必要な基礎力を評価します。

生活科学研究科 食物健康科学専攻

I 期 小論文

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、フレイルの特徴および栄養・運動面からの予防について整理し、具体的な策もいれて説明する力を評価することを意図しています。

あわせて、修士課程で獲得する知識・技能・研究成果を、保健医療、教育、地域等の具体的な場で社会へ還元しようとする構想力と専門職としての責任感を確認します。

生活科学研究科 食物健康科学専攻

I 期 専門科目

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、食品学、栄養学および生化学に関する基礎的・専門的知識を正確に理解し、重要な概念、機序および相互関係を説明する力を評価することを意図しています。

あわせて、具体的な健康課題や栄養状態を科学的根拠に基づいて分析し、複数の知識を統合して考察する力を確認し、入学後の研究遂行に必要な専門的基盤を評価します。

生活科学研究科 心理学専攻

I 期 英語

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、心理学の学術文献を正確に読解し、英文の構造と専門用語の意味を踏まえて日本語で的確に表現する力を評価することを意図しています。

あわせて、本文に示された理論、概念および研究知見を心理学の基礎知識と結び付けて説明する力を確認し、入学後の外国語文献講読と研究活動に必要な基礎力を評価します。

生活科学研究科 心理学専攻

I 期 専門科目

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、心理学および臨床心理学の主要な理論、研究法、心理アセスメント、支援技法等についての基礎的・専門的知識を総合的に評価することを意図しています。

あわせて、事例や現代的課題について、専門知識と倫理的配慮を踏まえて分析し、根拠を示しながら自らの見解を論理的に記述する力を確認します。

生活科学研究科 心理学専攻

Ⅱ期 英語

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、心理学分野の学術英文を正確に読解し、文脈に応じて専門用語と論旨を把握し、日本語で的確に表現する力を評価することを意図しています。

あわせて、英文に示された心理学的概念や研究知見を既存の専門知識と関連付けて説明する力を確認し、修士課程で必要となる文献収集・講読の基礎力を評価します。

生活科学研究科 心理学専攻

Ⅱ期 専門科目

出題意図

本学大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学部卒業までに身につけた「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を踏まえ、心理学の主要領域に関する基礎的・専門的知識を幅広く確認するとともに、研究法、心理アセスメントおよび臨床実践に関する概念を正確に理解する力を評価することを意図しています。

あわせて、心理学的な課題や事例を多面的に捉え、根拠に基づいて考察し、専門職として必要な倫理性と論理的表現力をもって説明する力を確認します。